

ぶぎん「地域活性コンソーシアム」のオンライン開催について ～県内地域の特長を活かした事業創出へ～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2021年1月25日（月）および26日（火）、産官学金のプラットフォームである、ぶぎん「地域活性コンソーシアム」の会議をオンラインで開催いたしますので、お知らせします。

2019年に創設した本コンソーシアムは、当行と県内の16自治体、8大学、企業・団体などが連携し、各地域の課題・ニーズや活性化に向けたノウハウなどを共有しながら、地方創生の新たな取組みの事業化を目指していくものです。

コロナ禍の影響が長期化する見通しの中、県内自治体ではニューノーマルを見据え、各地域の特長を活かしたより独自性ある事業創出が求められています。

今回の会議では、課題共有のための全体会議に加え、「農業」「産業振興」「健康」という3つのワーキングを開催し、「製品のブランド化」「ふるさと納税の活用」「ヘルスケア IT による健康づくり」をキーワードに、好事例・諸制度紹介とディスカッションを行っていくことで、事業化へのヒントに繋げてまいります。

当行では、今後も地元銀行として、ステークホルダーの皆さまと連携・協働しながら、県内各地域の一層の活性化に向け注力してまいります。

＜ぶぎん「地域活性コンソーシアム」会議の概要＞

日時	2021年1月25日（月）および26日（火）	
	両日とも 13:00～16:50	
開催方法	webミーティングシステムを使用したオンライン会議	
出席者	・包括連携協定（産学連携協定）を締結する自治体、大学関係者 ・地域活性化、産業振興などに取組む企業、団体	
主な内容	25日（月）	＜全体会議＞ 地域の課題共有と意見交換を行います
		＜農業分野ワーキング＞ 製品のブランド化 小鹿野町「かぼす」のブランド化事例を紹介
	26日（火）	＜産業振興ワーキング＞ ふるさと納税の活用 ふるさと納税を活用したテレワーク拠点誘致の可能性などを紹介
		＜健康分野ワーキング＞ ヘルスケアITによる健康づくり ヘルスケア IT の実証事業を行う企業の取組みなどを紹介

以上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 浅見、藤井
TEL (048) 641 - 6111 (代) 内線 2702、2706